

大学医学部・医科大学*1

尾 島 昭 次*2

1. 学校数

医学校数は戦後の18校（医学専門学校を除く）から、医専の医大化によって増加し、1950年には46校に達し、その後1969年までの20年間は変化をみなかった。しかし、1970年からの一県一医大の構想により表1、2に示すように1981年に80校、約倍増し現在に至っている。

2. 入学定員

表1に1965～1994年にわたる入学定員の変遷を示す。前回白書¹⁾の対象期間（1986～1990年）中に増加→ピーク→減少に転じた。その間の各大学における入学定員数の変遷とその時期について、各大学の沿革とともに表2に国・公・私立に大別して示す。

この白書の対象期間中の全80大学の総入学定員は表1のように、1990年の7,780名から1994年の7,735名へと45名減少した。

- ①国立大学：最後の120名校であった北大と京大が1990年にいずれも100名に、同年に徳島大が95名、鳥取大が80名にいずれも100名から減らしていた。1992年の5名増は防衛医大の増加によるもので、他の国立大学において変化はみられなかった。
- ②公立大学：変化なし。
- ③私立大学：慈恵医大（'92）と久留米大（'92）が120名から、北里大（'94）が110名からい

ずれも100名に減じた。なお、昭和大、東京医大は対象期間を通じ、定員120名のところ100名しか採っておらず、また、慈恵、川崎、久留米の諸大学においても、定員120名であった時期の入学者数は約110名であった。

入学定員がピークであった8,360名の約10%減の目標には、なお、約200名を削減しなければならず、もともと定員が100名以下であった大学に対しても一律10%減を示唆されるなど厳しい状況が続いている。

そのほか、入学者に関わる問題として、18歳人口の減少傾向は私立にとっては、経営にも響く重大関心事であろう。なお、入学者選抜（国公立大の分離・分割方式の拡大、選抜方法の多様化など）に関しては、本書の当該項を参照されたい。

また、女子学生が増加し、約30%^{2,4)}となったが、特別枠による外国人学生の減少⁴⁾は国際化時代に逆行しているといえよう。

3. 教 員

教員数は付属施設を除き、教育にもっとも関係の深い医学担当の専任教授・助教授・講師数の推移（1977～93年）²⁾を学生数とともに表3に、また、比較のために米国の対応する数^{1,5)}を表4に示す。

教員数は対象期間に362名増し、逆に学生数は1,211名減少、学生数：教員数比は3.1から2.9となった。表4の米国においては、学生数、教員数ともに増加しているが、教員数増の方が顕著であるため、その比率0.7である。日米間のこの比率は拡大こそすれ、縮小の傾向はみられない。

次に教員の空席状況を、医育機関名簿⁶⁾により、○○学、つまり講座の専任教授・助教授を対象として調査、○○部・科・センター・施設・研究所

*1 School of Medicine, Medical College in Japan
キーワード：医学部、医科大学、入学定員、教員数、学生数、学費

*2 Akitsugu OJIMA 順天堂大学医学部医学教育研究室・岐阜医療技術短期大学病理学

表 1. 設置区分別医学校数・入学定員の推移¹⁾

設置区分	1965	1970	'73	'75	'77	'79	1980	'81~84	'85	'86	'87	'88	'89	1990	'91	'92~93	'94
国立	学校数	24	25	28	34	36	39	42	43	43	43	43	43	43	43	43	43
	入学定員	1,980	2,360	3,040	3,680	3,880	4,260	4,560	4,640	4,640	4,600	4,540	4,445	4,285	4,165	4,165	4,170*
公立	学校数	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	入学定員	580	620	580	620	660	660	660	660	660	660	660	660	660	660	660	660
私立	学校数	13	16	26	28	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
	入学定員	1,000	1,400	2,580	2,820	2,940	3,040	3,040	3,040	3,040	3,040	3,040	3,020	2,995	2,975	2,955	2,915
計	学校数	46	50	62	70	72	76	79	80	80	80	80	80	80	80	80	80
	入学定員	3,560	4,380	6,200	7,120	7,480	7,960	8,260	8,360	8,340	8,300	8,240	8,125	7,940	7,800	7,780	7,745

*：防衛医大の入学定員 5 名増による。

や分院などは含めなかった。ただし東京女子医大(センター組織に分割)のセンターのうち、上記の講座に相当するものは対象とした。結果を表 5, 6 に示す。

1) 基礎・社会医学(表 5)

処方学を薬理学に、細菌学やウイルス学を微生物学に、医動物学を寄生虫学に含めた。また、前回までは独立して集計していなかった免疫(生体防御)学以下遺伝学まで 7 講座を新たに別途集計した。それら新しい分野の講座が次第に増加していることに注目したい。ただし前回との比較のため、それらを順位づけから除外した。

前回の 1989 年と比較すると、教授の空席は 1.2%増加で誤差の範囲とみられる。助教授は見かけ上は 28.7%と 26.3%でほぼ同じであるが、助教授の席を講師で埋めている場合を空席とみないで集計すると、前回の 9.3%が 4.9%とほぼ半減し、教授の空席率とほぼ等しくなった。基礎・社会医学では非医学出身の教員の占める比率が年齢と逆比例して高くなるといわれているが、その実態がどうか、改めて調査により明らかにする必要がある。

講座別に概観すると、教授の空席率順位は、寄生虫学、微生物学の 1, 2 位および生理学の 9 位が 4 年前と全く同様で、空席傾向が講座別に慢性化の感があるといえよう。助教授の空席率順位では法医学がいずれの集計においても第 1 位であり微生物学がそれに準じている。生理学の充足率は著しく改善されたが、逆に薬理学は教授、助教授ともに空席率の順位がかなり上昇した。

なお、全体の教授席数は 1,130 から 1,160 に、助教授のそれは 1,106 から 1,134 へとそれぞれ

30 と 28 席が 4 年間で微増したが、表 5 の下段の新しく独立して集計した講座の分も加えると実際にはその倍ぐらいあるのではなかろうか。それらの中で、医療(病院)管理学の教授の空席率が 55.6%と著明である。栄養学は徳島大学に 8 席あり異例である。

2) 臨床医学(表 6)

表 6 のように、内科学から形成外科学までの講座を前回と同様の順に教授、助教授に分けて席数と空席を集計し、新たにリハビリテーション医学、救急医学、総合臨床医学および医療情報学を追加したが、それらは順位づけからは除外した。

前回の 1989 年と比較すると、教授の総席数は 1,737 から 1,828 へと 91, 助教授のそれは 1,747 から 1,863 へと 116, 5~6%増加した。空席数は教授では 75 人, 4.1%で前回の 52 人, 3.0%に比し, 23 人, 1.1%増で今回の基礎・社会医学での 1.2%増とほぼ同じである。助教授では 249 人, 13.4%で前回の 255 人, 14.6%に比し 6 人, 1.2%減であった。教授のこの程度の空席は止むを得ないだろうが、助教授のそれは高いといえよう。基礎・社会医学におけると同様、その中のある部分は講師で任用していると思われるが、臨床には講師の席も本来あるので、その数字を是正する作業は行い得なかった。

教授について、席数の多い内科学と外科学についてみると、内科学は実数と%では 1989 年に比しやや多いが、順位は 6 位と変わらず、外科学は実数が 8 と同じでも、%と順位ではやや下がり、それぞれ平均値のやや上と下に位置している。全国的にみた場合、両講座のこの程度の空席は止むを得ないと思われる。空席傾向としては精神神経

表2. 大学医学部および医科大学の沿革と入学定員

A. 国立大学	設置・沿革	A. 国立大学	設置・沿革
北海道大学医学部 (100)←(120) '90	大8.4. 北海道帝国大学医学部 昭24.5. 北海道大学医学部	福井医科大学 (100)	昭24.5. 金沢大学医学部 中学校 医学部
旭川医科大学 (100)←(120) '89	昭48.9.	山梨医科大学 (100)	昭53.10.
弘前大学医学部 (100)←(120) '89	昭19.4. 県立青森医学専門学校 昭23.2. 弘前医科大学 昭26.4. 弘前大学医学部	信州大学医学部 (100)	昭19.3. 松本医学専門学校 昭23.2. 松本医科大学 昭24.5. 信州大学医学部
東北大学医学部 (100)←(120) '89	文化14. 藩医学校 明13. 宮城医学校 明34.4. 仙台医学専門学校 大4.7. 東北帝国大学医科大学 大8.4. 東北帝国大学医学部 昭24.5. 東北大学医学部	岐阜大学医学部 (80)	昭18.12. 岐阜県立女子医学専門学校 校
秋田大学医学部 (100)	昭45.4.	浜松医科大学 (100)	昭22.6. 岐阜県立医科大学 昭25.4. 岐阜県立大学医学部 昭39.4. 岐阜大学医学部 昭49.6.
山形大学医学部 (100)←(120) '88	昭48.9.	名古屋大学医学部 (100)	明4. 仮医学校 大9.6. 愛知医科大学 昭6.4. 名古屋医科大学 昭14.4. 名古屋帝国大学医学部 昭24.5. 名古屋大学医学部
筑波大学医学専門学 群 (100)	昭48.10.	三重大学医学部 (100)	昭18.12. 三重県立医学専門学校 昭23.2. 三重県立医科大学 昭47.5. 三重大学医学部 昭49.10.
群馬大学医学部 (100)	昭18.3. 前橋医学専門学校 昭23.5. 前橋医科大学 昭24.5. 群馬大学医学部	滋賀医科大学 (100)	明32.7. 京都帝国大学医科大学 昭24.5. 京都大学医学部
千葉大学医学部 (100)←(120) '87	明9.10. 公立千葉病院医教場 明20.9. 第一高等学校医学部 明27.7. 第一高等学校医学部 明34.4. 千葉医学専門学校 大12.5. 千葉医科大学 昭24.5. 千葉大学医学部	京都大学医学部 (100)←(120) '90	
東京大学医学部 (100)	安政5. 種痘所 明2.12. 大学東校 明10.4. 東京医学校 明19.3. 東京帝国大学医科大学 昭24.5. 東京大学医学部	大阪大学医学部 (100+20) ↓'90 (90+10)	明2.11. 大阪医学校 (政府直轄) 明3.2. 大阪府医学校 明4.7. 大阪医学校 (文部省) 明6.2. 大阪府立病院教授局 明13.3. 府立大阪医学校 明21.1. 大阪医学校 明34.6. 大阪府立医学校 明36.10. 大阪府立高等医学校 大4.10. 府立大阪医科大学 昭6.4. 大阪帝国大学医学部 昭24.5. 大阪大学医学部
東京医科歯科大学 (80)	昭3.10. 東京高等歯科医学校 昭19.4. 東京医学歯学専門学校 昭21.8. 東京医科歯科大学 明43.4. 新潟医学専門学校 大11.4. 新潟医科大学 昭24.5. 新潟大学医学部 昭50.10.	神戸大学医学部 (100)←(120) '89	昭16.1. 兵庫県立医学専門学校 昭21.4. 兵庫県立医科大学 昭26.3. 県立神戸医科大学 昭39.4. 神戸大学医学部 昭20.3. 米子医学専門学校 昭23.2. 米子医科大学 昭24.5. 鳥取大学医学部 昭50.10.
新潟大学医学部 (100)←(120) '89		鳥取大学医学部 (80)←(100)←(120) '90 '87	
富山医科薬科大学 (95)←(100) '90		島根医科大学 (95)←(100) '90	
金沢大学医学部 (100)←(120) '88	文久2.3. 種痘所 慶応3.6. 養生所 明3.2. 金沢医学館 明8.8. 石川県金沢病院医学所 明12.11. 金沢医学校 明20.8. 第四高等学校医学部 明27.7. 第四高等学校医学部 明34.4. 金沢医学専門学校 大12.4. 金沢医科大学	岡山大学医学部 (100)←(120) '89	明3.4. 岡山藩医学校 明5.1. 医学所 明13.9. 岡山県医学校 明21.4. 第三高等

表2. つづき

A. 国立大学	設置・沿革	A. 国立大学	設置・沿革
広島大学医学部 (100)←(120) '89 山口大学医学部 (100)←(120) '88 徳島大学医学部 (95)←(100)←(120) '90 '86 香川医科大学 (95)←(100) '90 愛媛大学医学部 (95)←(100) '90 高知医科大学 (95)←(100) '90 九州大学医学部 (100)←(120) '89 佐賀医科大学 (95)→(100) '90	明29. 6. 第三高等学校医学部 明34. 4. 岡山医学専門学校 大11. 4. 岡山医科大学 昭24. 5. 岡山大学医学部 明20. 3. 広島県立医学専門学校 明23. 3. 広島県立医科大学 明28. 8. 広島大学医学部 昭19. 4. 山口県立医学専門学校 昭22. 6. 山口県立医科大学 昭39. 4. 山口大学医学部 昭20. 4. 徳島医学専門学校 昭23. 2. 徳島医科大学 昭24. 5. 徳島大学医学部 昭53. 10. 昭48. 9. 昭51. 10. 明36. 3. 京都帝国大学福岡医科大学 明44. 4. 九州帝国大学医科大学 大 8. 2. 九州帝国大学医学部 昭24. 5. 九州大学医学部 昭51. 10.	長崎大学医学部 (100)←(120) '86 熊本大学医学部 (100)←(120) '88 大分医科大学 (95)←(100) '90 宮崎医科大学 (100) 鹿児島大学医学部 (100)←(120) '87 琉球大学医学部 (100) 入学定員数 計 4100(防衛医大を除くと'91~'94変化なし)	安政 4. 医学伝習所 明 4. 11. 文部省長崎医学校 明20. 8. 第五高等学校医学部 明27. 9. 第五高等学校医学部 大12. 3. 長崎医科大学 昭24. 5. 長崎大学医学部 宝暦 6. 医学寮再春館 明 4. 7. 県立医学校 明37. 1. 私立熊本医学専門学校 大10. 4. 熊本県立医学専門学校 大11. 5. 熊本県立医科大学 昭 4. 5. 熊本医科大学 昭24. 5. 熊本大学医学部 昭51. 10. 昭49. 6. 昭17. 県立鹿児島医学専門学校 昭24. 3. 県立鹿児島医科大学 昭30. 7. 鹿児島大学医学部 昭54. 10.
札幌医科大学 (100) 福島県立医科大学 (80) 横浜市立大学医学部 (60) 名古屋市立大学医学部 (80) 京都府立医科大学 (100)	昭20. 4. 北海道女子医学専門学校 昭25. 2. 札幌医科大学 昭19. 1. 福島県立女子医学専門学校 昭22. 6. 福島県立医科大学 昭19. 4. 横浜市立医学専門学校 昭24. 2. 横浜医科大学 昭27. 2. 横浜市立大学医学部 昭18. 4. 名古屋女子高等医学専門学校 昭22. 6. 名古屋女子医科大学 昭27. 2. 名古屋市立大学医学部 明 5. 11. 仮療養所 明15. 11. 医学校 明36. 6. 京都府立医学専門学校	大阪市立大学医学部 (80) 奈良県立医科大学 (100) 和歌山県立医科大学 (60) 入学定員数 計 660 ('91~'94変化なし)	大10. 10. 京都府立医科大学 昭19. 2. 大阪市立医学専門学校 昭23. 4. 大阪市立医科大学 昭30. 2. 大阪市立大学医学部 昭20. 3. 奈良県立医学専門学校 昭23. 2. 奈良県立医科大学 昭20. 4. 和歌山県立医学専門学校 昭23. 2. 和歌山県立医科大学
岩手医科大学 (80)	明 3. 2. 岩手医学専門学校 昭22. 6. 岩手医科大学	自治医科大学 (100) 獨協医科大学 (100)	昭47. 2. 昭47. 7.

表2. つづき

C. 私立大学	設置・沿革	C. 私立大学	設置・沿革
埼玉医科大学 (100)	昭47. 2.	日本医科大学 (100)	明37. 4. 日本医学校 明45. 7. 日本医学専門学校 大15. 2. 日本医科大学
北里大学医学部 (100)←(110)←(120) '94 '90	昭45. 3.	聖マリアンナ医科大学 (100)	昭46. 1. 東洋医科大学 昭46. 8. 聖マリアンナ医科大学
杏林大学医学部 (90)←(100) '88	昭45. 3.	金沢医科大学 (100)	昭47. 3.
慶応義塾大学医学部 (100)	大5. 12. 慶応義塾大学医学科 大9. 2. 慶応義塾大学医学部	愛知医科大学 (100)	昭46. 12.
順天堂大学医学部 (90)	昭18. 12. 順天堂医学専門学校 昭21. 5. 順天堂医科大学 昭26. 3. 順天堂大学医学部	藤田学園保健衛生大 学医学部(100)	昭46. 11. 名古屋保健衛生大学医学部 昭59. 6. 藤田学園保健衛生大学医学 部
昭和大学医学部* (120)	昭3. 4. 昭和医学専門学校 昭21. 4. 昭和医科大学 昭27. 2. 昭和大学医学部	大阪医科大学 (100)	昭2. 2. 大阪高等医学専門学校 昭21. 3. 大阪医科大学
帝京大学医学部 (100)←(120) '89	昭46. 3.	関西医科大学 (100)	昭3. 6. 大阪女子高等医学専門学校 昭24. 3. 大阪女子医科大学 昭29. 12. 関西医科大学
東海大学医学部 (100)←(110) '88	昭49. 1.	近畿大学医学部 (95)←(100) '89	昭49. 1.
東京医科大学 (120)*	大7. 4. 東京医学専門学校 昭22. 2. 東京医科大学	兵庫医科大学 (100)	昭46. 11.
東京慈恵会医科大学 (100)←(120) '92	明24. 9. 東京慈恵医院医学専門学校 明41. 東京慈恵会医院医学専門学校 大10. 10. 東京慈恵会医科大学	川崎医科大学 (100)←(120) '91	昭45. 3.
東京女子医科大学 (100)	明33. 12. 東京女医学校 明45. 3. 東京女子医学専門学校 昭22. 6. 東京女子医科大学	産業医科大学 (100)	昭52. 12.
東邦大学医学部 (100)	大4. 3. 帝国女子医学専門学校 昭5. 12. 帝国女子医学薬学専門学校 昭24. 2. 東邦大学医学部	福岡大学医学部 (100)	昭47. 1.
日本大学医学部 (110)←(120) '90	大14. 4. 日本大学専門部医学科 昭17. 4. 日本大学医学部	久留米大学医学部 (100)←(120) '92	昭3. 2. 九州医学専門学校 昭18. 2. 九州高等医学専門学校 昭21. 3. 久留米医科大学 昭25. 2. 久留米大学医学部
		入学定員数 計 2,955→2,905	
		総 計 7,715→7,665	

1. () 内は入学定員、(削減入学定員)←(削減前の入学定員)

西暦年

2. 設置・沿革は前回白書¹⁾を、入学定員はそれに加え「医学教育カリキュラムの現状」²⁾ならびに大進研94, 95入試のてびき³⁾を参照とした。

3. 表1の入学定員総数(1991年)7,780より65人、1994年の7,735より70人少ないのは、防衛医科大学校の定員65, 70が含まれていないためである。

医学、麻酔・蘇生学、脳神経外科学、臨床検査医学などは全般に空席が少なく、逆に歯科・口腔外科学と形成外科学は両年ともやや多く、1989年の泌尿器科学もやや高い。

助教授では、内科学、外科学、小児科学が両年ともに、整形外科学と脳神経外科学の1994年、泌尿器科学の1989年などの空席が比較的少なく、逆に歯科・口腔外科学、形成外科学ならびに放射

表3. 教員数と学生数²⁾

年 度	1977	'79	'83	'85	'87	'89	'91	'93
A. 教員数	7,756	8,347	9,452	9,870	10,320	10,603	11,213	11,575
B. 学生数	28,506	31,862	35,487	35,657	34,641	34,941	34,577	33,730
B/A	3.7	3.8	3.8	3.6	3.4	3.3	3.1	2.9

注1. 教員数は付属施設を除く，教授，助教授，講師。

注2. 学生数は専門の4年間を対象とした。

表4. 米国医学校における教員数と学生数^{1,4)}

年 度	1976~77	78~79	82~83	'85~'86	'87~'88	'89~'90	'91~'92	'93~'94
A. 教員数	41,394	46,598	55,527	61,372	66,798	72,320	80,086	90,975
B. 学生数	57,276	62,754	66,886	66,604	65,742	65,081	65,539	66,453
B/A	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7

注：教員数は常勤の教授，準教授，助教授，講師ならびにその他。

講師ならびにその他が前3者の合計の1割弱で，その他を含んでも大勢に影響はない。

表5. 講座別教員の空席状況—基礎・社会医学

区 分	教 授								助 教 授															
	1989 ¹⁾				1994 ⁶⁾				1989(見かけ上) ¹⁾				講師で任用分を除外				1994(見かけ上) ⁶⁾				講師で任用分を除外			
	席*1	空	%	順	席	空	%	順	席	空	%	順	席	%	順	席	空	%	順	席	%	順		
解 剖 学	180	7	3.9	4	181	5	2.8	8	176	53	30.1	4	16	9.1	4	181	44	24.3	6	8	4.4	6		
生 理 学	159	1	0.6	9	164	3	1.8	9	153	60	39.2	2	21	13.7	2	161	39	24.2	7	3	1.9	8		
生 化 学	128	3	2.3	7	147	8	5.4	3	126	28	22.2	6	8	6.3	8	134	34	25.4	5	6	4.5	5		
病 理 学	167	5	3.0	5	170	5	2.9	7	164	34	20.7	7~8	12	7.3	5	164	43	26.2	3	8	4.9	4		
薬 理 学	93	1	1.1	8	98	5	5.1	4	92	19	20.7	7~8	6	6.5	7	96	29	30.2	2	8	8.3	2		
微 生 物 学	98	6	6.1	2	98	7	7.1	2	94	14	14.9	9	5	5.3	9	98	19	19.4	8	7	7.1	3		
寄 生 虫 学	59	6	10.2	1	60	8	13.3	1	60	16	26.7	5	4	6.7	6	65	11	16.9	9	1	1.5	9		
衛 生・公 衛 学	167	4	2.4	6	159	8	5.0	5	163	53	32.5	3	16	9.8	3	155	40	25.8	4	5	3.2	7		
法 医 学	79	4	5.1	3	83	3	3.6	6	78	40	51.3	1	15	19.2	1	80	39	48.8	1	10	12.5	1		
計・平均	1,130	37	3.3		1,160	52	4.5		1,106	317	28.7		103	9.3		1,134	298	26.3		56	4.9			
免 疫 (生体防衛)学					19	1	5.3									16	5	31.3		2	12.5			
分 子 生 物 学 (病 態)学					15	1	6.7									14	5	35.7		3	21.4			
放 射 線 基 礎・核 医 学					13	0	0									13	3	23.1		1	7.7			
栄 養 学					11	2	18.2									11	0	0		0	0			
医 療 (病 院) 管 理 学 ^{*2}					10	6	60.0									10	3	30.0		2	20.0			
医 用 (電 子) 工 学					6	1	16.6									6	2	33.3		0	0			
遺 伝 医 学					5	1	20.0									4	1	25.0		0	0			

*1: 1985年の資料による

*2: 臨床に所属するのも含む

表 6. 講座別教員の空席状況—臨床医学

区 分	教 授								助 教 授							
	1989 ¹⁾				1994 ⁶⁾				1989 ¹⁾				1994 ⁶⁾			
	席数	空席数	%	順位	席数	空席数	%	順位	席数	空席数	%	順位	席数	空席数	%	順位
内 科 学	388	14	3.6	6	414	19	4.6	6	384	35	9.1	14	441	36	8.2	15
外 科 学	236	8	3.4	7	267	8	3.0	13	252	16	6.3	16	256	28	10.9	12
整形外科学	93	2	2.2	10~11	90	3	3.3	10	102	18	17.6	9	92	8	8.7	14
産婦人科学	95	1	1.1	12~14	95	4	4.2	7	99	12	12.1	12	99	14	14.1	8
小児科学	93	1	1.1	12~14	95	3	3.2	11	97	8	8.2	15	102	11	10.8	13
眼 科 学	85	5	5.9	3	83	3	3.6	8	86	19	22.1	3~4	86	12	14.0	9
皮 膚 科 学	82	4	4.9	4	82	4	4.9	5	81	15	18.5	7~8	88	19	21.6	3
泌尿器科学	85	2	2.4	8	80	7	8.7	2	86	8	9.3	13	89	10	11.2	11
神経精神科学	93	1	1.1	12~14	92	2	2.2	15	84	13	15.5	10	90	18	20.0	5
耳鼻咽喉科学	88	2	2.3	9	88	3	3.4	9	86	19	22.1	3~4	92	18	19.6	6
放射線・核医学	106	4	3.8	5	108	7	6.5	3	101	30	29.7	2	97	20	20.6	4
麻酔・蘇生学	90	2	2.2	10~11	96	1	1.0	16	90	17	18.9	6	91	11	12.1	10
脳神経外科学	74	0	0	15~16	83	2	2.4	14	72	10	13.9	11	85	5	5.9	16
歯 科 ・ 口 腔 外 科 学	53	4	7.5	2	56	5	8.9	1	49	20	40.8	1	60	17	28.3	2
臨床検査医学	54	0	0	15~16	64	2	3.1	12	54	10	18.5	7~8	62	12	19.4	7
形成外科学	22	2	9.1	1	35	2	5.7	4	24	5	20.8	5	33	10	30.3	1
計 ・ 平 均	1,737	52	3.0		1,828	75	4.1		1,747	255	14.6		1,863	249	13.4	
リハビリテーション医学					11	1	9.1						8	3	37.5	
救 急 医 学					10	1	10.0						14	2	14.3	
総合臨床医学					5	0	0						6	0	0	
医療情報学					2	1	50.0						1	0	0	

線・核医学における空席は、89、94 いずれもやや高い。

なお、整形外科学の席数が教授、助教授いずれも減少しているのは、整形外科学に合算していた整形外科的リハビリテーション医学を今回整形外科学から独立させたためである。

別枠で集計したリハビリテーション医学、救急医学、総合臨床医学ならびに医療（医用）情報学などは現在増加しはじめている講座である。空席の実数は小さいが、%では0、低い、中等度の3群となり、まだ流動的である。講座としての数は表示のように少ないが、病院組織としての部、科、センターを含めると、リハビリテーションは18、

救急は教授27、助教授54、総合臨床医学に総合診療を入れると10と11、医療情報学は12と10となり、時代のニーズに応じて、数と講座への昇格が増加するとみられる。

参考までに米国の医学校における教員の欠員状況（1993~94）を表8に示す。日米間で教員組織自体が必ずしも同一ではないが、同じ国の異なる年次の比較を比べることは意味がある。

日本では臨床医学における助教授の空席率が高いのは、講師で任用している数を基礎医学のように除外しなかったためと推測される。それを割引して仮に基礎に近くなったとしても、基礎・臨床ともに米国より1.5%あまり高い。米国では5年

表7. 米国医科大学常勤教育の空席 (1993~'94) ⁵⁾

Departments	No. of Full-time Budgeted Positions Filled					No. (%) of Vacant Positions
	Professor	Associate Professor	Assistant Professor	Instructor and Other	Total	
Basic Science						
Anatomy	914	741	612	241	2,508	92(3.5)
Biochemistry	932	464	567	194	2,157	67(3.0)
Genetics	128	88	119	78	413	10(2.4)
Microbiology	735	490	472	122	1,819	53(2.8)
Pathology	1,442	1,249	1,636	533	4,860	165(3.3)
Pharmacology	755	429	478	207	1,869	57(3.0)
Physiology	830	469	441	141	1,881	58(3.0)
Other	383	307	396	225	1,311	28(2.1)
Subtotal	6,119	4,237	4,721	1,741	16,818	530(3.1)
Clinical Science						
Anesthesiology	529	853	2,168	869	4,419	162(3.5)
Dermatology	161	137	248	118	664	20(2.9)
Family medicine	311	579	1,295	406	2,591	192(6.9)
Medicine	4,448	4,299	7,899	3,422	20,068	803(3.8)
Neurology	597	607	972	386	2,562	123(4.6)
Obstetrics and gynecology	728	748	1,424	798	3,698	225(5.7)
Ophthalmology	398	351	543	336	1,628	62(3.7)
Orthopedics	313	277	554	244	1,388	75(5.1)
Otolaryngology	260	218	387	171	1,036	41(3.8)
Pediatrics	1,803	2,129	3,830	1,385	9,147	433(4.5)
Physical medicine	95	152	420	152	819	39(4.5)
Psychiatry	1,273	1,456	3,267	2,562	8,558	258(2.9)
Public health and preventive medicine	294	259	360	171	1,084	30(2.7)
Radiology	1,280	1,256	2,322	813	5,671	210(3.6)
Surgery	1,884	1,651	2,840	957	7,332	334(4.3)
Urology	166	116	159	74	515	18(3.4)
Other	345	407	1,113	398	2,263	86(3.7)
Subtotal	14,885	15,495	29,801	13,262	73,443	3,111(4.1)
Total	21,004	19,732	34,522	15,003	90,261	3,641(3.9)

*Meharry Medical College, Nashville, Tenn, did not report ; 1992-1993 data were used.

間に基礎・臨床ともに空席率が減少傾向を示しているが、日本では、基礎は減少、臨床は横這い状況である。絶対数の少ないわが国におけるこれらの傾向は好ましくなく、欠員補充、選考のスピードアップが必要である。

4. 学 費

表9~11にそれぞれ国・公・私立大学における最近の学費を示す。国立では検定料と入学科が2年ごとに同時に各1, 3万円、授業料は前2者が

表 8. 教員空席率の日米比較

		1988-89	1993-94
日本*	基礎医学	6.3	4.7
	臨床医学	8.6	8.7
米国	基礎医学	4.6	3.1
	臨床医学	4.9	3.9

表 5, 6 の教授+助教授 (基礎では右欄分) を合計して算出。

表 9. 国立大学学費 (単位: 万円)

年 度	検定料	入学料(a)	授業料(b)	初年度学費(a+b)
1985	10	12	25.2	37.2
86	11	15	25.2	40.2
87	11	15	30.0	45.0
88	12	18	30.0	48.0
89	12	18	前期 33.6	51.6
			後期 33.96	51.96
90	13	20.6	33.96	53.96
91	13	20.6	37.56	57.56
92	14	23	37.56	60.56
93	14	23	41.16	64.16
94	15	26	41.16	67.16

表 10. 公立大学医学部・医科大学学費

年 度	1990 ¹⁾			1994 ²⁾
	入学金	授業料	計, 初年度学費	初年度学費
大学・医大名				
札幌医大	18	33.6	51.6	67.16
福 島 医 大	県内	33.96	54.56	93.5
	県外		116.36	150.5
横 浜 市 大	市内	33.6	42.6	75.86
	市外		51.6	87.36
名古屋市大	20	33.6	53.6	79.68
京都府立医大	府内	33.6	51.6	64.16
	府外		65.1	81.16
大 阪 市 大	市内	33.6	45.6	58.16
	市外		57.6	70.16
奈 良 医 大	県内	37.2	57.2	66.8
	県外		107.2	118.8
和歌山医大	県内	33.96	51.96	57.58
	県外		98.96	114.58

(単位: 万円)

据え置かれた年に約3万円値上げされている。その結果、初年度学費は94年度で67万円と10年間で倍近く上昇している。

表10の公立⁷⁾は国立にほぼ準拠しているが、設置府・県・市在住か否かにより格差をつけているところが多い。とくに入学金に大差がみられる。

表11の私大の場合は衆知のように初年度納入金が最低300万から最高1200余万円間でかなり高いレベルで大きなバラツキを示している。国公立と私大との差の縮小を目的として国公立の値上げが実施されているが、現実はその差は容易に縮まらない。

5. 大学の組織の改変

1991年の大学設置基準の改正に連動し、大学の組織が大別して2つのレベルで動いている。1つは一般教育、いま1つは大学院教育に関連してである。この点については、この白書でも別項目で取り上げられているので、詳細はそちらを参照されたい。しかし、最近の調査⁸⁾で明らかになった点として、80大学のうち、つぎの6大学が医学進学課程を保持し、かつ廃止計画がないことである。国立で滋賀医大、公立で横浜市立大と京都府立医大、私立で埼玉医大、昭和大、帝京大の6大学である。つまり大学設置基準の改正の狙い通り自由化、多様化がみられるようになった。

大学院レベルでは、古い国立大において大学院重点化が検討されており、京大が先導的で、東北大、東大、九大、熊本大などに独立した大学院専攻が設置されている。大学院重点の大学における卒前教育のありかたが今後の重要な課題となる。

謝辞：資料を提供いただいた岐阜大学入試係長 尾田美喜夫氏ならびに当医学教育研究室の尾島千絵氏の資料整理に感謝します。

文 献

- 1) 尾島昭次：大学医学部・医科大学。医学教育白書1990年版（'87～'90）、日本医学教育学会編、篠原出版、東京、1990、5-14
- 2) 全国医学部長病院長会議：医学教育カリキュラムの現状、平成3年度（1991年）平成5年度（1993年）

表 11. 1994年度私立大学学納金（単位：千円）

大 学 名	検定料	初年度 納入金	6年間 納入金計
岩手医科大学	50	10,000	30,000
日本大学医学部	50	9,950	32,600
日本医科大学	50	9,570	24,170
東邦大学医学部	50	10,685	31,110
東京医科大学	55	9,400	26,400
東京女子医科大学	40	11,990	31,440
東京慈恵会医科大学	60	5,000	15,000
慶応義塾大学医学部	60	3,050	16,800
昭和大学医学部	50	12,300	28,800
順天堂大学医学部	50	8,500	28,000
関西医科大学	40	9,700	25,700
大阪医科大学	40	12,500	22,500
久留米大学医学部	45	8,900	30,400
北里大学医学部	50	12,000	32,000
杏林大学医学部	50	8,000	30,500
川崎医科大学	50(40)	9,000	37,000
聖マリアンナ医科大学	50	8,900	25,900
帝京大学医学部	50	12,076	38,956
藤田学園保健衛生大学	40	7,600	36,100
兵庫医科大学	40	10,300	31,800
愛知医科大学	50	10,500	38,000
福岡大学医学部	45	10,500	35,824
自治医科大学	30	3,000	14,000
埼玉医科大学	40	9,500	34,500
金沢医科大学	50	12,000	39,500
獨協医科大学	50	11,100	36,600
近畿大学医学部	35	10,100	30,600
東海大学医学部	35	10,954	42,224
産業医科大学	14	3,000	14,000
平 均	45.5	9,313	29,670

（順天堂大学資料による）

- 3) 大進研グループ編：大進研'94、'95年入試のてびき第2集、1993、1994、大学進学研究会、東京
- 4) 尾島昭次：日本の医学教育はどう変わりつつあるのか。第2回国際医学教育会議—変革期の医学教育—、医学教育振興財団、1993、25-47
- 5) 牛場大蔵訳（Jonas, H. S. ほか著）：米国医学校における教育プログラム（1993～1994年）。JAMA（日本語版）、1995(1)：101-109
- 6) 医育機関名簿1994-95：羊土社、東京、1994
- 7) 早川 豊：医学部を受験する前に読む本1994：中外医学社、東京
- 8) 石井哲夫・他：1994年度一般教育の実態調査報告。全国医学部長病院長会議カリキュラム調査専門委員会、1995. 3